

本日

完全授業放棄

文学部自治会常任委員会

(於講堂)

文部省の調査費計上に反対して、学生大会を開く

昨日、文学部常任委員会主催のもとに、調査費計上強行抗議集会がクラスを基準に約60名の参加がありました。集会後、おりから席かられていた理学部学生会主催会議にむけて、昨日体育学部で秘密裡に進行された評議会で決定した、と伝えられている筑波調査費計上について重複を明らかにするよう要請し、我々のねばり強い要求行動により、以下の事項が確認されました。

『調査費計上、事実上決定する』

我々はこの大衆団交の席上、理学部学節長で、予算委員会委員長でもあり立派な過敏症担当の小林評議長に20日評議会での決議を明らかにせよと問い合わせし、約3時間にわたる言及の末、小林評議長は次の諸事実を認めました。

- ① フスター・プラン委員会から昨年とほぼ同規模の約三千万円、同内容の調査費を計上したいと理学部に相談があり、それをうけて理学部から評議会にその旨提案し、文部省へ教職員がこれを了承したので議題としてとりあげた。
- ② 評議会はマスター・プラン委員会の原案を認めたが、なお細部にわたり検討し、それとMTP委員会にゆだねた。

学友諸君！我々はこの「重複」を分析してみるならば、①これは調査費計上の実質的な決定であり、各学部教員会で事後承認をとりつければ、又部省に概算要求がなしえることへこれは昨年の調査費とほぼ同額同内容なので事後承認だけでは、まだあらへ②各学部教員会へ飛ぶこれの評議会の決定は、あくまで調査ヒト計上を前提として審議される③若干の補修は申請レベルにおいて処理可能である。以上を一トータルには括してみるならば、20日の秘密裡の評議会決定は、重複上の調査費計上決定であり、我々の筑波調査費計上決定でない。我々は怒りをこめてこれを糾弾するうするものに他ならない。我々は怒りをこめてこれを糾弾する

『学生大会をスト決議でつめつくせ！』

我々はこの調査費計上決定が、極めて非民主的な方法でなされた、ということを指摘するのは容易である。しかしこれに対する斗争は、文学部の多く一部諸君のまことに重なる民主主義を守る争いとわり少化することに断じてできない。この評議会での調査費の強行決定は何よりも昨年のMTPの土地確保決定以降なしくすじ前に行なわれてきた移転直の更なる実質化であり、来年三月に予定されているMTP委最終審査、70年度からの部分移転の布石として大きな役割をはたすこととはいうまでもない。

学友諸君！我々はもう後退のしようのない立場に今立たれている。このことはつきりと宣言しよう！このハレンチな決定をむしに移転村進ケルナブに、我々の力だけつきりとたきつけよう！本日、完全授業放棄で斗い学生大会をスト決議で埋めつくをうと各クラスで全ての斗う学友はクラス斗争委員会を再建し、我々のストライキ斗争を通じて、全学斗争委員会を結成しよう！全ての斗う学友の失意に又学部常任委員会はいることを誓った！

スローガン

① 調査費計上粉碎！

② 六一〇決定白紙撤回！

③ 評議会回交要求！

④ 全学斗争委員会をからとろう！

9~11

11~12

夜

会計大學生まり立派

クラスとスト